

様式 F-7-1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成30年度）

所属研究機関名称		大妻女子大学	機関番号	32604
研究代表者	部局	家政学部		
	職	教授		
	氏名	小林 実夏		

1. 研究種目名 基盤研究(C)(一般) 2. 課題番号 17K009353. 研究課題名 育児期の女性の精神的社会的要因や地域・家族の支援と子どもの食環境や発達との関連4. 補助事業期間 平成29年度～令和3年度

5. 研究実績の概要

国立成育医療センターで実施されている「成育母子コホート研究」の生後6年後の調査を子の母親・父親を対象に質問紙法により実施した。調査の内容は、子の食習慣、しつけ、世話について、母親・父親それぞれの食習慣についてである。これらの調査とあわせて簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ）を用いた食事調査の実施を行った。来年度も引き続き調査対象者の数を増やしデータ構築をすることによって、出産後うつ、不安障害、健康度等の子どもの栄養や発達、あるいは母親、父親の食事への影響について明らかにする予定である。特に、妊娠中および出産後の母親の栄養摂取状況を、エネルギー栄養素摂取量を算出して摂取量の過不足について評価することのみならず、食事バランスガイド、食事の多様性、食事パターンを用いた新しい評価方法によって把握するための検討を行い、出産後うつ、不安障害、健康度等の子どもの栄養や発達、あるいは母親、父親の食事への影響について関連を明らかにする。

また、これらの関連に産後・育児に関するソーシャルサポート、家族のサポートが与える影響について明らかにする予定である。

6. キーワード

母子コホート 発達 食習慣 食事評価 栄養摂取状況 育児 サポート

7. 現在までの進捗状況

区分 (2) おおむね順調に進捗している。

理由
2017年度は、6歳児から236件、母親から223件、父親から202件、合計661件のデータを収集した。2018年度は、6歳児から300件、母親から292件、父親から255件、合計847件のデータを収集した。2年間で総合計1508件のデータ集が完了した。
産後うつ（EPDS）、精神的健康尺度（Kessler-6）、健康関連QOL（SF-8）、母親から乳児へのボンディングスケール（MIBS-J）等の指標と子どもの発育状況、食習慣との関連を検討するため、各データの整理を行った。
妊娠中および出産後の母親の栄養摂取状況を、エネルギー栄養素摂取量を算出して摂取量の過不足について評価することのみならず、食事バランスガイド、食事の多様性、食事パターンを用いた新しい評価方法について検討を行っているところである。

2 版

8. 今後の研究の推進方策

次年度も生後6年後の調査を継続し、対象者数を増やす。また、データの整理ができた調査項目について解析を行い、母親の就業状況、家族環境、産後うつや不安障害の発症等が子どもの食環境、栄養摂取、発育や家族の食習慣に与える要因に関して明らかにする。特に、現在行っている各種の食事評価法の開発およびその妥当性を検証し、母親の栄養摂取状況と産後うつや不安障害、また子の栄養摂取、発育との関連について検討する予定である。

9. 次年度使用が生じた理由と使用計画

年度末に申請した伝票が年度末決算に間に合わなかったため。

10. 研究発表（平成30年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 Ogawa K, Morisaki N, Kobayashi M, Jwa SC, Tani Y, Sago H, Horikawa R, Fujiwara T	4. 巻 72
2. 論文標題 Maternal vegetable intake in early pregnancy and wheeze in offspring at the age of 2 years.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Eur J Clin Nutr.	6. 最初と最後の頁 761-771
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s41430-018-0102-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi M, Sasazuki S, Shimazu T, Sawada N, Yamaji T, Iwasaki M, Mizoue T, Tsugane S	4. 巻
2. 論文標題 Association of dietary diversity with total mortality and major causes of mortality in the Japanese population: JPHC study.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Eur J Clin Nutr.	6. 最初と最後の頁 416
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s41430-019-0416-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Abe E, Kobayashi M, Morisaki N, Ogawa K, Jwa S.C, Fujiwara T	4. 巻
2. 論文標題 The relationship between working patterns and dietary habit and weight gain during the pregnancy period.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Medical Safety	6. 最初と最後の頁 40-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

1 1. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件 (うち出願0件 / うち取得0件)

1 2. 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

1 3. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

1 4. 備考

-